

はじめに

群馬県少年の主張西部地区大会が、八月二日（土）、富岡市生涯学習センターにおいて、百八十二名の皆様に御来場いただき、盛大に開催することができました。御来賓の富岡市教育委員会白石教育長様には、公務御多用の中、御祝辞を賜り誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

群馬県少年の主張は、少年が社会の一員としての自覚を高めること、県民が少年に対する理解や認識を深めること、さらに毎月第一土曜日の「少年の日」の普及を図ることを目的として、昭和五十四年の国際児童年を契機に始められ、今年度は第四十七回を迎えました。本大会は、県下の国公立・私立中学校、義務教育学校、中等教育学校前期課程、特別支援学校中部部の生徒たちが参加する「オール群馬」の大会であります。西部管内では西部地区大会に向けて、九市町村の約一万二千名もの生徒が参加しました。

西部地区大会では二十名の代表者の発表を聞かせていただきました。今回も優れた発表ばかりで、審査員一同大変審査に悩みました。発表者の主張が社会で生かされ、よりよい未来になることを期待します。私たち大人も、今回の発表の内容を真摯に受け止め、自分自身のものの見方や考え方を振り返り、行動に移していく必要があるのではないかと思います。

少年の主張に参加したすべての中学生の皆さんは、自分の体験や課題に思う社会的事象等について深く考え、主張をより明確にしたことと思います。今は気軽にインターネット上で自分の考えを発信できる時代です。しかし、今回皆さんが取り組んだように、聞き手のことをよく考えて、自分の考えが正しく伝わるように精選した表現は、聞き手の心にまっすぐ思いが届くとともに、勇気を与えることができます。ぜひ、今回の学びを大切にしたいと思います。そして今後、伝えたい主張がある場合には新聞等に投稿欄がありますので、活用してみたいかがでしょうか。あなたの言葉で勇気を得る人がいるかもしれません。

本文集は、西部地区大会参加者二十名の発表を収録したものです。多くの方々にお読みいただき、発表者一人一人の思いが皆様方に伝われば幸いです。

おわりに、今年度の校内大会、郡市大会、西部地区大会のために御指導、御尽力いただきました先生方、市町村青少年行政担当者の皆様、青少年健全育成関係団体ほか、本大会を開催するにあたりお力添えいただきました関係者の皆様方に心から御礼申し上げます。

令和七年九月

西部教育事務所長 池田 卓巳